

☆ 今月のオススメの商品 ☆

業務用 スズメバチ バスター



簡単に吊るすだけのスズメバチ捕獲器です。春から秋にかけて飛び回る女王蜂や働き蜂をしっかりとキャッチします。巣作り防止に効果絶大。誘引液は薬剤不使用で安全安心。



* 設置期間の目安 春・秋 約 30 ~ 40 日間 夏 約 30 日間



* 風が当たりやすいところでは結束バンド等で固定すると安定します。

¥1863 (税込)

プロ使用の業務用です



お客様の声

小さく細かい釘は使えない場合があります

Nボール 280 mm
N50・N65・N75の釘が抜きやすい!!

【商品特徴】

- 釘抜き部がU字型でしっかりと固定!
- 抜いた後の釘も離れやすい。
- 太めのグリップで滑らずしっかりと持つことができる

¥1571 (税込)



ねもかな通信 No.81

『日本に学べ!』

根本 勉

昨年九月にインド高速鉄道事業において日本の『新幹線』が受注に成功致しました。
中国通の拓殖大学教授でありジャーナリストの富坂聰(とみさか ともさとし)氏の報告です。
今まで世界各地で高速鉄道の受注競争で競り勝ってきた中国が、インドの受注に成功しなかった要因を細かく分析した結果を中国のメディアが報じていることに富坂氏は驚いているようだ。
もちろん中国の中では『インドと日本の関係は中国より良好だ!』という意見もあるが、一方中国は今回の失敗を事細かに分析し次の準備に相当備えているようだ。
新幹線というものは車両や軌道等のハード面も大切だがそれを運営したり維持管理するソフト面がセットで動いている。

平成30年
4月号
発行人
株根本金物
〒960-8032
福島市陣場町9-28
TEL 024-534-0962
FAX 024-531-3024

『こんな事ってあり!?!』

根本 三枝子

運転技術・保安技術・運営能力・更には人材の育成その他のサービスとの連携等が複雑に絡み合っており新幹線の運行がスムーズに行われている。今回はこのハード面とソフト面の両方を提示した結果、安さや早さだけが売り物の中国とは違う点が受注に繋がったと分析している。
こういう事を中国のメディアが報じている。
反日・抗日を掲げる中国が日本の優れている所も併せて紹介していることが富坂氏の目に留まったようだ。更に話はこう続く。
日本がバブルで浮かれているとき、そしてバブルが崩壊したとき中国からかなりの人数がつぶさに日本を研究していた。
日本とアメリカの貿易摩擦のときも良く分析していた。
さすがは中国! 侮ってはいけない。



優ライフ情報

今月の「わいわいクラブ」は四月二十五日(水)午後二時です。皆様のご参加お待ちしております。

『こんな事ってあり!?!』

久しぶりに情報収集の為、東京ビッグサイトへ二日間建築建材フェスティバルなどに行ってきました。
土台等に使う無害を特徴とする防汚剤や地震対策用の油圧制震装置など、その中でも画期的なのがノーリツ社製のお風呂掃除の自動化、ボタンを押すだけで掃除やお湯はりをしてくれる。とっても便利!
今後どこまで進化するのだろうか?もしかしてシャンプーもしてくれたりして、ウフフ。
明日もまた東京に来ることだし、そろそろ帰ろうかとバス停に向かっていたら、私の足もとに違和感がある。見てみるとシューズのかかとが『顎のはずれた?ワニ』のように大きな口をパクツと土踏まずの所まで裂けていました。
こんな事もあるものだと思いつつ、



いくら古いシューズとはいえこんな時に...。
これでは東京駅構内を歩くこともできない!
ましてや福島まで...
とつさにローソンがあることを思い出して早速、ゼリー状の瞬間接着剤を購入し靴の底一面に塗布。
これでOK!!
さすが瞬間接着剤ですね!
そして無事福島に到着。
早速靴屋さんにGO!!
靴を選んでる間に今度は右足に違和感が...。
ぎこちない歩きかたで早々に靴を購入し安心!
おかげさまで次の日は快適に過ごすことができました。
靴に感謝ですね!

メンバーの小部屋

趣味のことから思った事、感じた事など自由にコメントしております。楽しんで頂けると幸いです。

「トランポリン」



平尾 和重

先日私の奥さんが健康のために家庭用トランポリンを購入いたしました。直径が1mほどの小型のものでそれほど場所も取りません。話を聞くと5分間の飛び跳ね運動でジョギング1km分のカロリーを消費するとの事。子供達も大喜びで奥さんと順番にピョンピョン！はじめは面倒だったのでその様子を眺めるだけだったのですが、勧められてやってみるとスゴイのです。2～3分使用しただけで脚全体がガクガクするほど疲れ、日頃の運動不足を再認識いたしました。たしかに短時間の運動が長距離ジョギングに匹敵するというのもわかる気がしました。ただ、残念なのが我が家のトランポリンは少し音がうるさい事。跳ねるたびにスプリングがギシギシ…。子供達が使う場合はそれほどでもないのですが、私は少し体重が重いのかもかもしれません（笑）



「椎茸」

佐藤 信吾

先日親戚より大量に椎茸をいただきました。その椎茸がとにかくデカイ！スーパーで通常販売されているものよりも大きく、直径10センチはあろうかという大きさです。さて、その肝心の食べ方は全て奥さんにおまかせ。昼のお弁当、そして夕食と見ない日がないほどの椎茸攻勢が続きます（笑）
椎茸が嫌いな人にとってはまさに地獄のような日々です。椎茸が嫌いじゃなくて良かった（笑）



「ネットショッピングで買ってはいけないもの？」

我彦 武大

ちょっと前に愛車のバッテリーが上がってしまい、せっかくバッテリーを交換するのだから従来よりも軽くて容量が大きいものにしようと思いネットで探してみると、ちょうどいい感じのものが見つかって早速注文してみました。注文してから1週間程でバッテリーがきて充電して取り付けようとしたのですが、10時間以上充電しても完了せず…。とりあえず取り付けてみて走るのは走りましたが、後日走らせようとするともたまたまバッテリー上がっていました。買ったところに問い合わせしてみると、どうやらバッテリーの製造年月日が古く劣化していたということが分かりました。結局、不良品ということで返金していただきバッテリーはカーショップで従来品を買いました。そういえば以前に聞いた話なのですが、ネットでタイヤを買ったら製造から6年近く経ったものがきて劣化していたのでしょうか、使ったら半年も経たずにゴムにひび割れが起き、使い物にならなくなり半年間使用していたため返金してもらえなかったそうです。バッテリーもタイヤも鮮度がありますので、ちゃんと実店舗で商品を見て買った方がいいなあと思いました。



「誕生日」

4月29日の「昭和の日」は、もともと昭和天皇の誕生日でした。ちなみにその前の名称は「みどりの日」でしたが祝日法改正により、5月4日に移動しました。それでは明治天皇や大正天皇の誕生日がいつかご存知ですか？ちょっと気になって調べてみました。明治天皇の誕生日は11月3日の「文化の日」がそれにあたります。では大正天皇の誕生日というと8月31日です。しかし、祝日とされておられません。これは大正天皇崩御後に名称を変えて残そうという運動がなかったことや大正時代が15年間と短かったこと、後世に伝えたい偉業がないなど様々な考えがあるそうです。ただ、これまでの天皇誕生日をすべて記念日にしていたら年間の約3分の1が祝日になってしまう計算ですので逆に祝日という形で残っている事の方が特別のようです。（※現在の天皇で125代目です）

私のオススメの一冊



「置かれた場所で咲きなさい」

渡辺和子 著



佐藤 信吾

人生は全て順風満帆なわけではなく、必ずうまくいかない時やこんなはずじゃないと思う時が誰でもあります。この本は自分がどの境遇に置かれても花を咲かせる（どうしたら幸せな生き方ができるか）ためにどうしたら良いのか、著者の経験も交え書かれています。私はこの本を読んで、何をすることも考え次第で結果も変わるのだなと感じました。文中に「自分が積極的に動いて、初めて幸せを手に入れることができる。」という言葉がありますが、消極的になって何もしないよりもまずは相手のために自分が動くこと、自分のためではなく誰かのためにという気持ちを持ってこれから実践していきたいと思えます。何事もまずは行動に移さないと始まらないということ、結果も考え次第で変わることを改めて学びました。



「困難にも感謝する」

鍵山秀三郎 著

平尾 和重

本書は異なる課題を全112の項目の短編に分けて事例を挙げて同じような問題に悩む方々の道しるべのようなものです。全体をさらに6つのテーマごとに分けてあり、読者の興味のある所から読めるようになっています。読む人のその時々抱える問題によって心に響くお話が異なり、いつ読んでも常に新鮮な印象があります。項目ごとの教えは至ってシンプルです。誰でもできることです。ただ、それを継続して実践できるかという事が本人の覚悟次第だと思えます。私が現在の時点で心に響いたのは「早め早めに処理する」と「リーダーは具体的な指示を」という項目です。早めというのはいかに及ばずですが新しい気づきとしては後者の方です。リーダーというと大まかで曖昧な指示を出してしまうこともありますがこれはケースバイケースで具体的な指示を出さないといけない場合もあります。これがうまくいってないリーダーも多く、この部分を本書では強く注意しております。その他にも色々ありますが、とても参考になるお勧めの一冊です。



「失敗のメカニズム」

芳賀繁 著

我彦 武大

失敗とは個人のミスや勘違い、忘れから起きるものがほとんどであり、読めば失敗が起きないようになるのかと思いました。しかし読んでみて感じたのは、一人ひとりの考え方、能力に差があり、また人間は忘れる動物なので、エラー（失敗）の可能性は絶対に起こります。まずエラーには大きく分けて2種類があり、ポケ型とドジ型がいるそうです。ポケ型は記憶因子と関係が深く、何かをやり忘れてするミスであり、ドジ型は注意因子は動作の注意深さに関係しているそうです。ポケ型のエラーが多い方はこまめにメモを取り、ドジ型は2回チェックし落ち着いて行動する。特に私はポケ型なので、忘れない工夫がやはり必要なのだと感じました。エラー事故を掘り下げて分析していくと、最終的に事故の引き金となったのは個人のエラーであっても、その背景要因としてチームワークやリーダーシップ、関係者のコミュニケーション、組織の意思決定のあり方、企業や地域や家庭の安全風土などに問題が見いだされることも多いです。風土は個人の安全行動を支える安全意識や仕事意欲を向上させたり、低下させたりする要因となり安全設備などのハードウェア、作業標準などのソフトウェアが事故防止に向けてきちんとつくり、機能するかどうかは組織の風土にかかっています。人間の行動には失敗もつきものですが、小さな失敗からできるだけ多くのことを学び失敗の特性を理解し、発生要因をコントロールすることによって大きな失敗の可能性を最小限に抑える必要があります。エラーのために事故が起きるからと言って、エラーが起きないように対策だけを考えるのは間違っていると思います。組織の安全対策や風土が改善されてエラーを減らすことができても、人間が行動する以上エラーの可能性は絶対にゼロにはなりません。エラーが起きても事故にならない対策を講じなければならないと学びました。